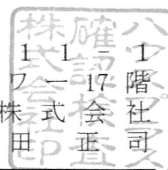


接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
令和2年8月28日

東京都港区海岸1-1-17
ニューピア竹芝ノースタワー17階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 吉田 正



1. 接合金物名称	ビス止め万能羽子板Ⅱ M12
2. 試験依頼者	株式会社 栗山百造 〒955-0096 新潟県三条市井戸場84-9
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部及び横架材端部接合部を想定した中柱型引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。
5. 試験体仕様	<u>1) 接合金物</u> 「ビス止め万能羽子板Ⅱ M12」1個 材 質: 板部;SPHC(JIS G 3131) パイプ部;SGP(JIS G 3452) 寸 法: L=100mm 板部 t=3.2mm 接合具用孔 4-φ7.3mm パイプ部;内径φ12.7mm t=2.3mm(L=30mm) 表面処理: Ep-Fe/Zn 8/CM2(JIS H 8610) <u>2) 接合具</u> 柱側*1: 「クリスパイラルビス 7×65」4本 材 質: SAE 1022*2 SWRCH22A(JIS G 3507-1)相当材として以下の化学成分を満たすもの*3 C(0.18~0.23%), Mn(0.70~1.00%), P(0.030%以下), S(0.035%以下) 寸 法: 頭部径φ11mm ねじ山径φ7mm ねじ谷径φ4.8mm L=65mm(ねじ部L=50mm) 先端形状は、とがり先とする。 表面処理: ダクロタイズド 横架材側: 「角座金 W4.5×40」1個 材 質: SPHC(JIS G 3131) 寸 法: 40mm×40mm t=4.5mm 接合具用孔 1-φ14mm 表面処理: Ep-Fe/Zn 8/CM2(JIS H 8610) 「六角ナット M12」1個 材 質: SWCH8R(JIS G 3507-2) 寸 法: M12 表面処理: Ep-Fe/Zn 8/CM2(JIS H 8610) 「六角ボルト M12×210」1個 材 質: SWRM8(JIS G 3505) 寸 法: M12 L=210mm(ねじ部L=60mm) 表面処理: Ep-Fe/Zn 8/CM2(JIS H 8610) <u>3) 軸組材料</u> 柱材*1: 105mm×105mm×700mm スギ 製材無等級 含水率: 13.5~19.5% 全乾密度: 0.34~0.36g/cm³ 横架材: 105mm×105mm×1,000mm スギ 製材無等級 含水率: 11.5~31.0% 全乾密度: 0.34~0.40g/cm³ *1 試験体は柱頭柱脚部を想定しているが、横架材端部の接合で用いる場合は、柱材を横架材として読み替える。 *2 SAE Internationalが定める規格 *3 試験ではSAE 1022を使用した
6. 試験条件等	試験体の固定は、柱芯から横架材両木口400mmの位置にM12ボルト・ナットと角座金W4.5×40を用いて鉄骨架台に緊結した。(締付トルク管理値:20N・m) また、横架材にズレが生じないための固定用治具及び、加力時に柱の偏心を防止するためサポート治具を設置した。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 11.4 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	株式会社栗山百造:新潟県三条市井戸場84-9
9. 試験実施日	令和2年7月16日
10. 試験実施担当者	試験実施担当者:株式会社 栗山百造 製造部 開発課 池井 直道 報告書作成者:ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 阪口 明弘 宇山 善博

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。